図 5.1-14（9）　過剰間隙水圧比（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－２１，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

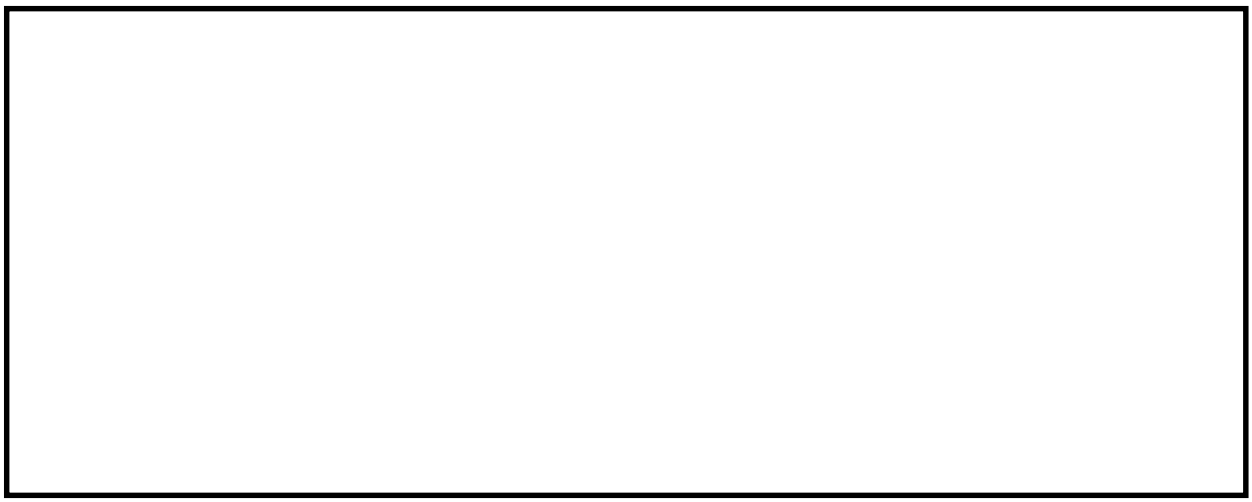

図 5.1-14（10）　過剰間隙水圧比（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－２２，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

図 5.1-14（11）　横断方向の過剰間隙水圧比（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－３１〔Ｈ＋，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

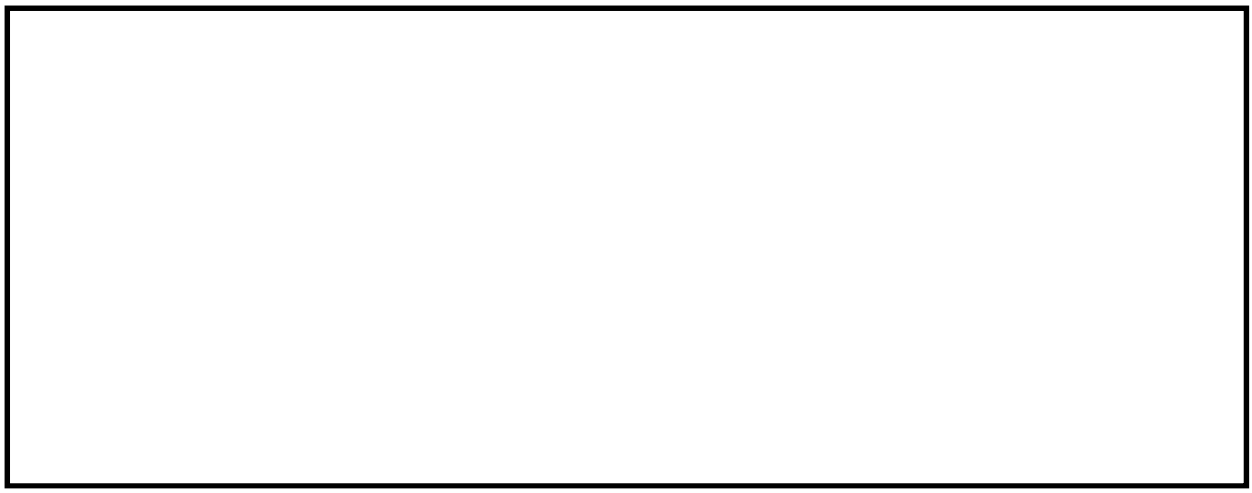

図 5.1-14（12）　過剰間隙水圧比（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－３１〔Ｈ－，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

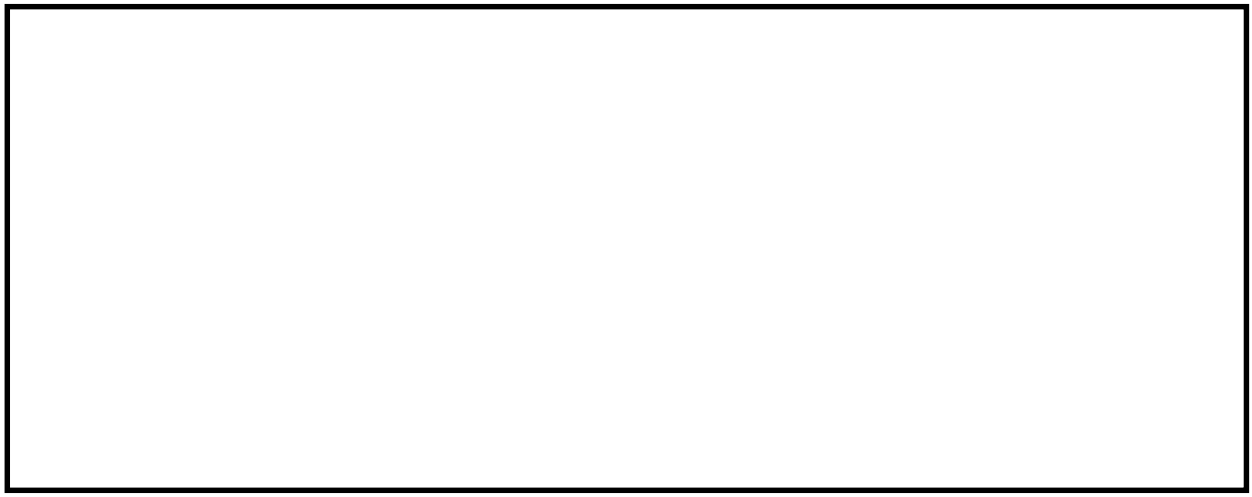

図 5.1-14（13）　過剰間隙水圧比（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース②：地盤物性のばらつきを考慮（＋1σ）した解析ケース）

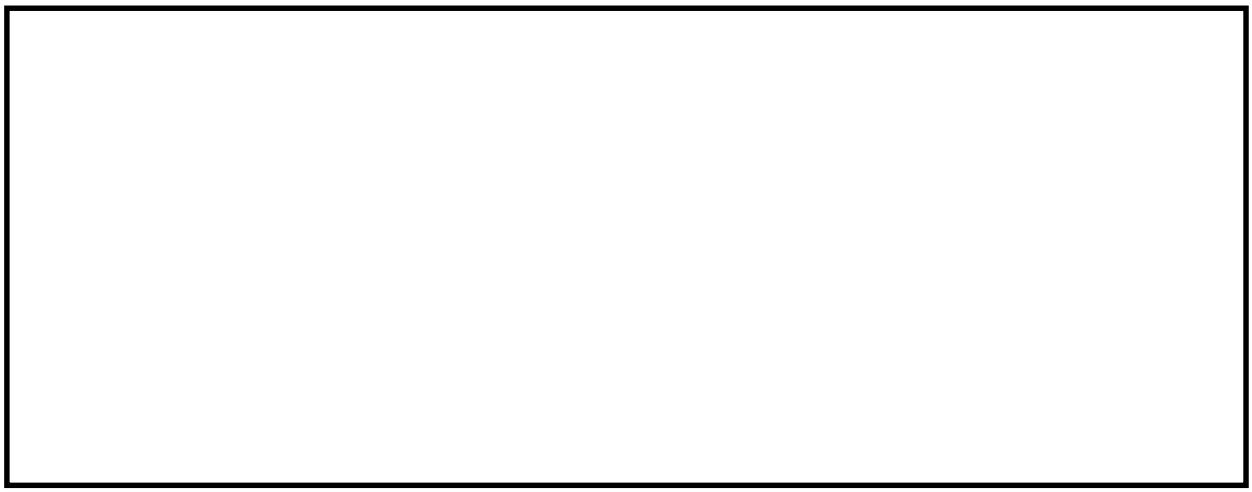

図 5.1-14（14）　過剰間隙水圧比（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース③：地盤物性のばらつきを考慮（－1σ）した解析ケース）

図 5.1-14（15）　過剰間隙水圧比（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，検討ケース④：敷地に存在しない豊浦標準砂の
液状化強度特性により地盤を強制的に液状化させることを仮定した解析ケース）

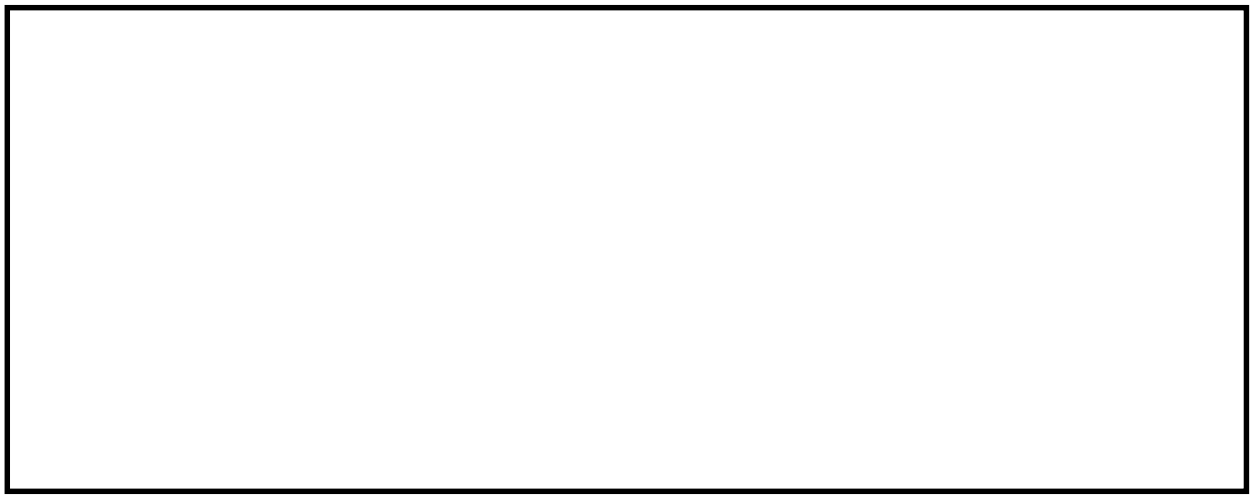

図 5.1-15（1）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

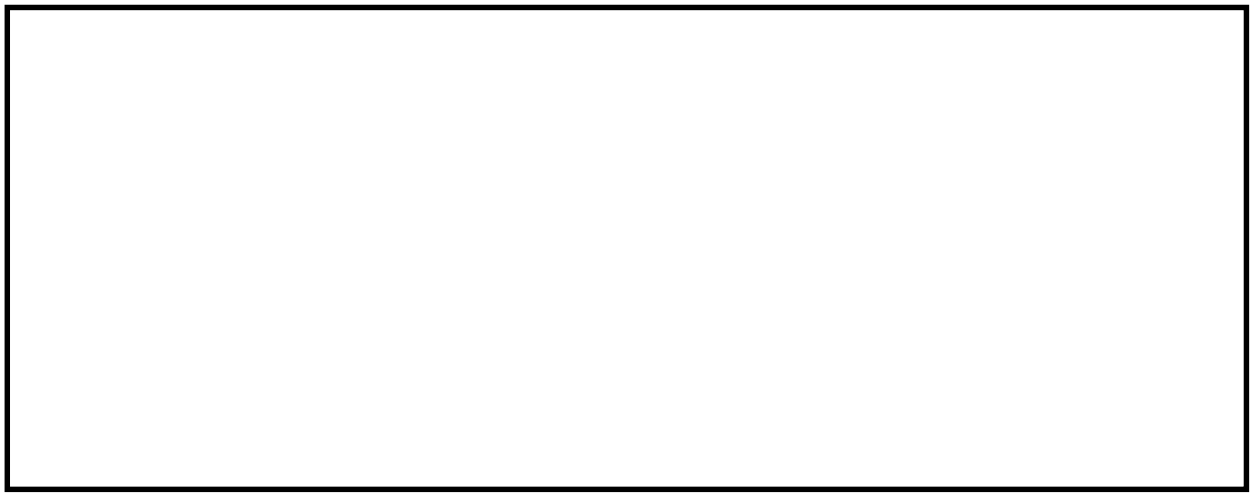

図 5.1-15（2）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

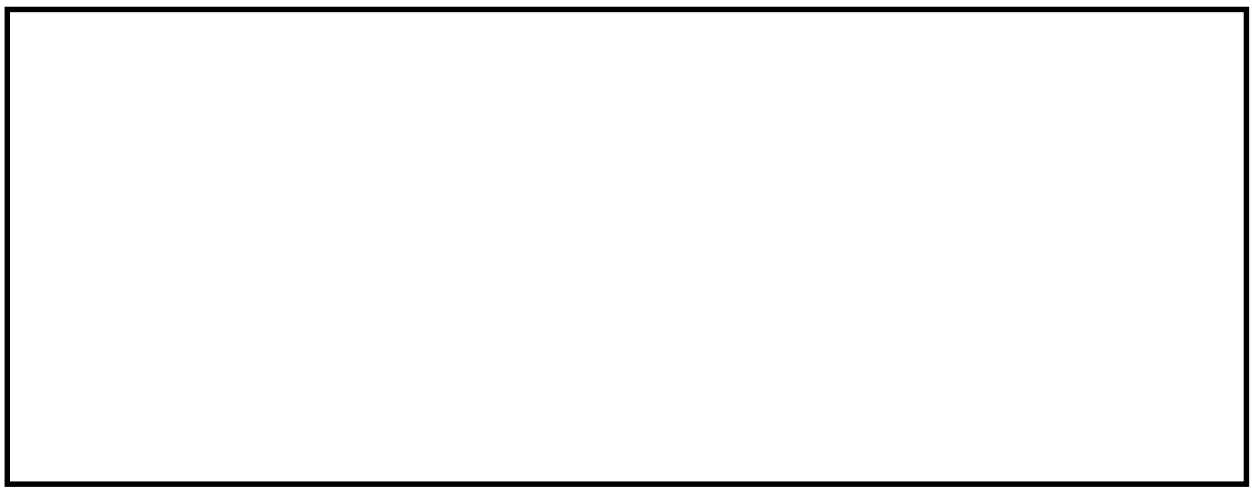

図 5.1-15（3）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ－，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

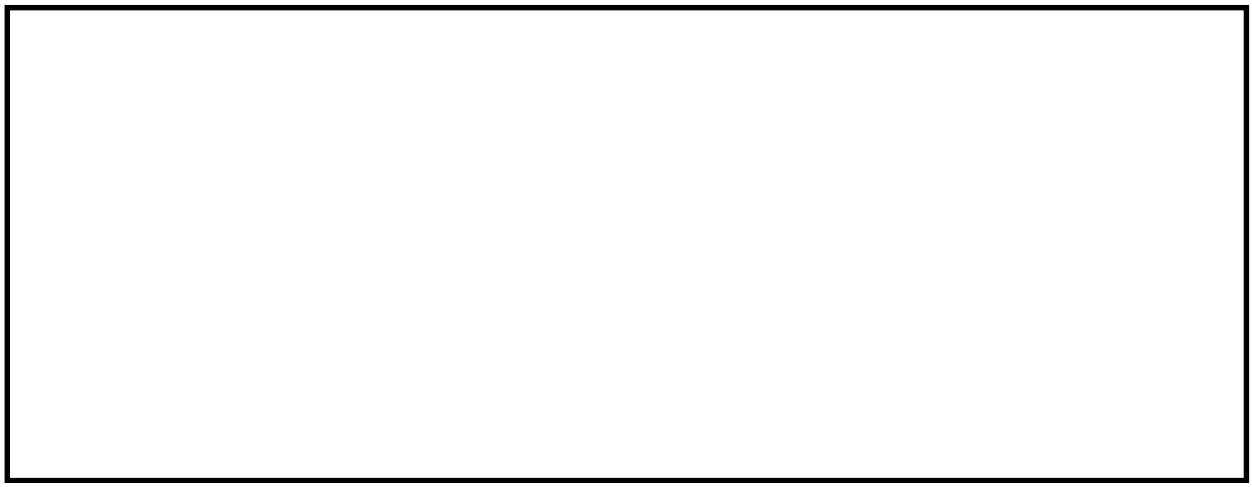

図 5.1-15（4）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ－，Ｖ－〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

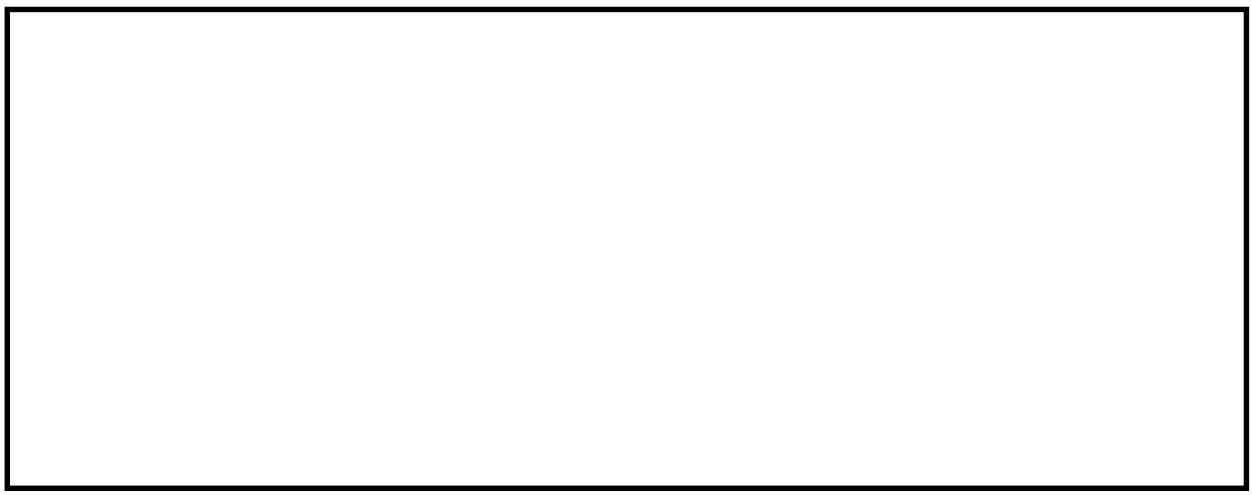

図 5.1-15（5）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－１１，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

図 5.1-15（6）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－１２，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

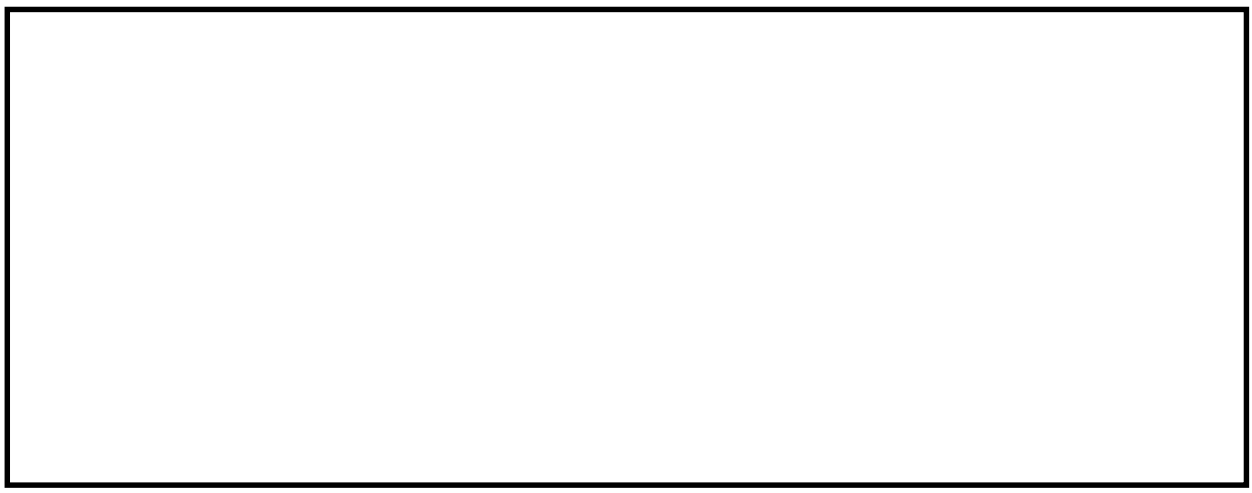

図 5.1-15（7）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－１３，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

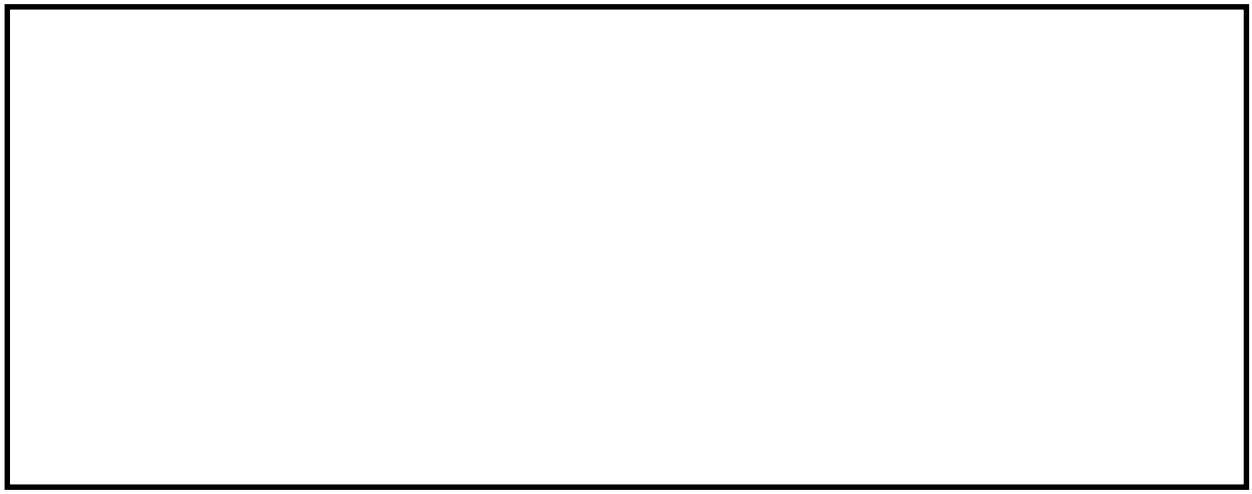

図 5.1-15（8）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－１４，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

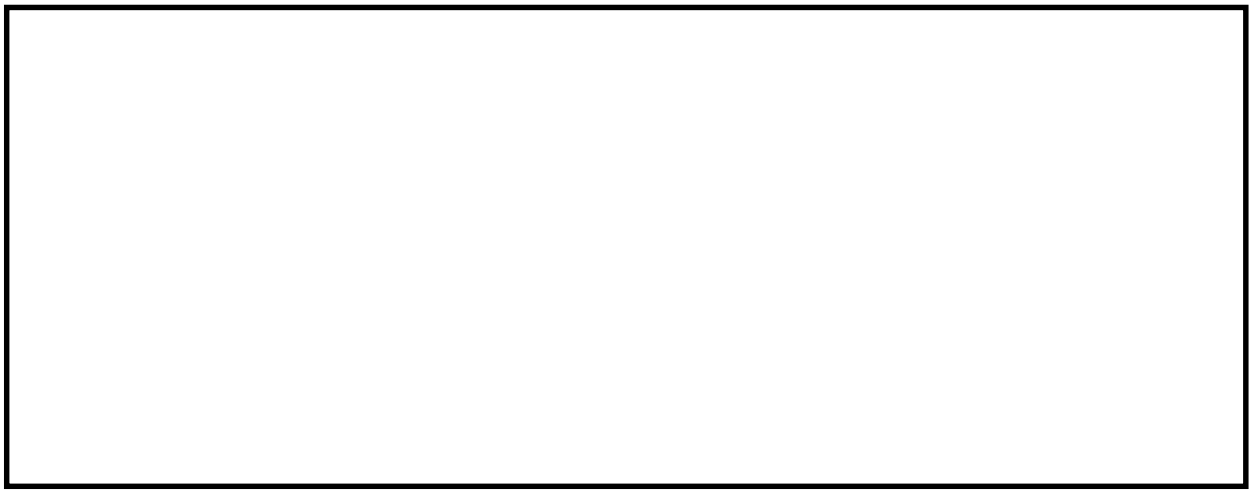

図 5.1-15（9）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－２１，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

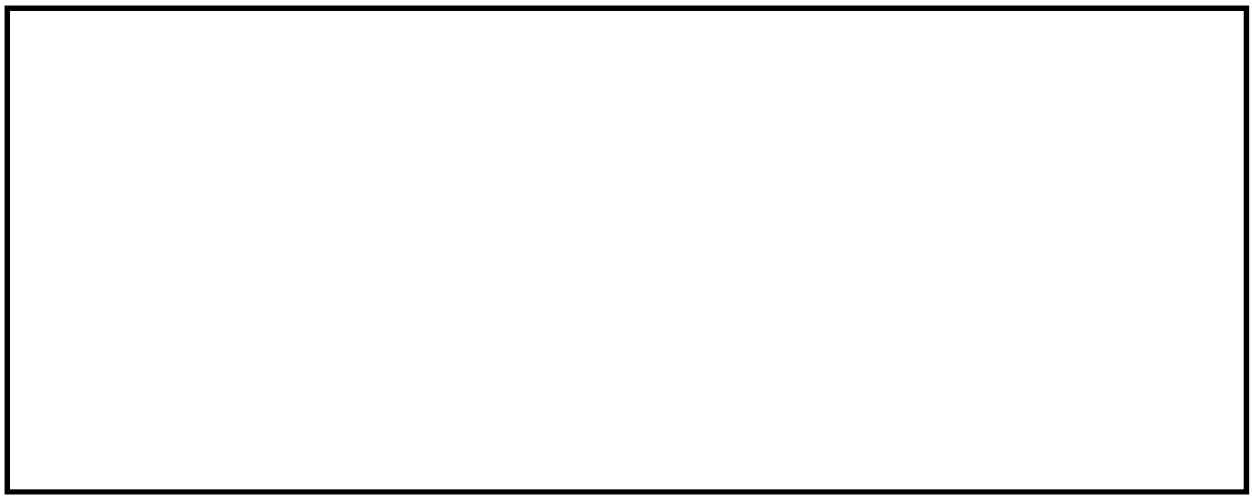

図 5.1-15（10）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－２２，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

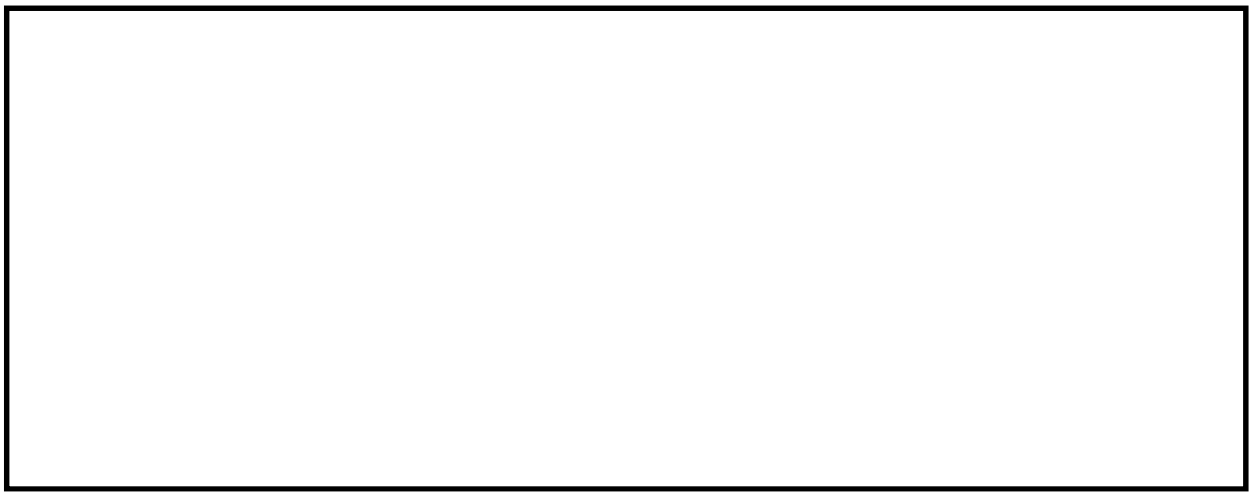

図 5.1-15（11）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓ$_s$－３１〔Ｈ＋，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

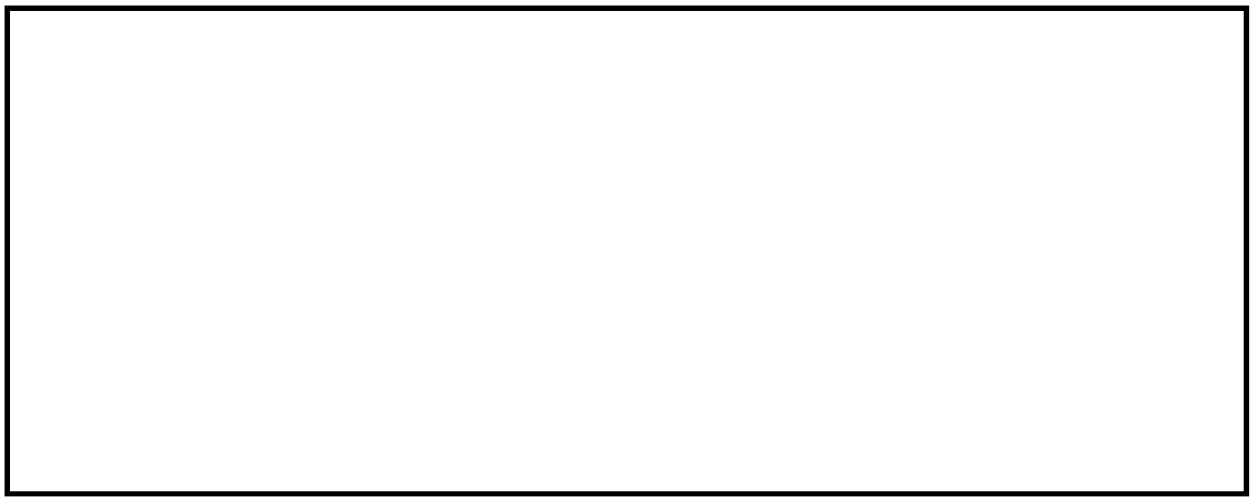

図 5.1-15（12）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓ$_s$－３１〔Ｈ－，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

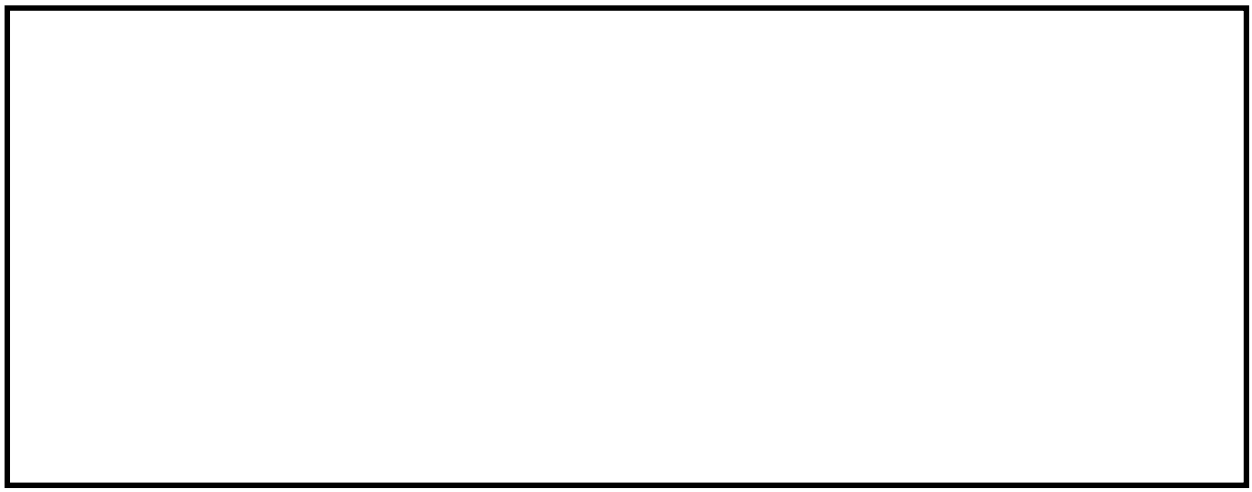

図 5.1-15（13）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース②：地盤物性のばらつきを考慮（＋1σ）した解析ケース）

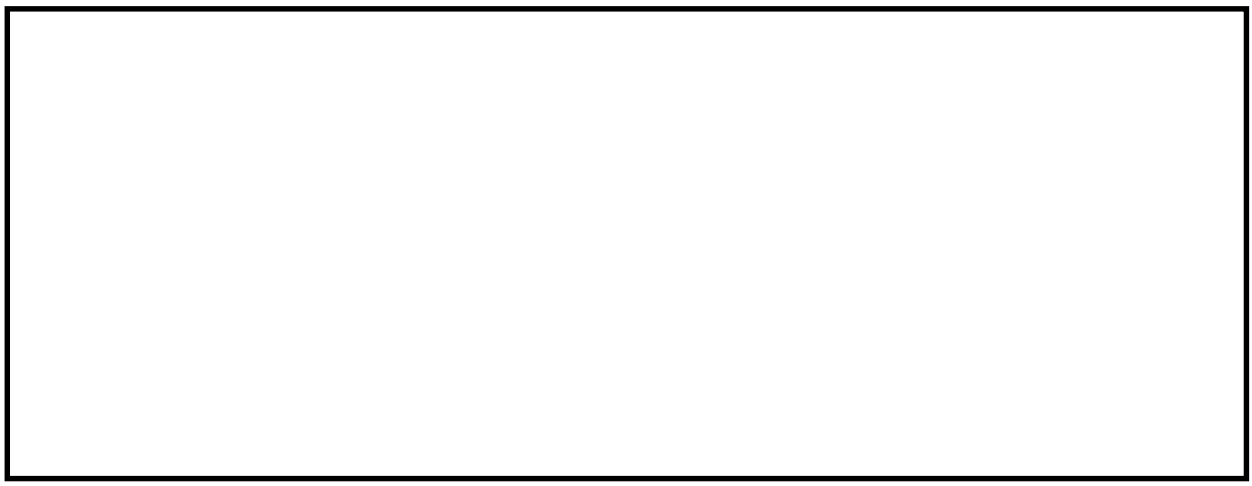

図 5.1-15（14）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース③：地盤物性のばらつきを考慮（－1σ）した解析ケース）

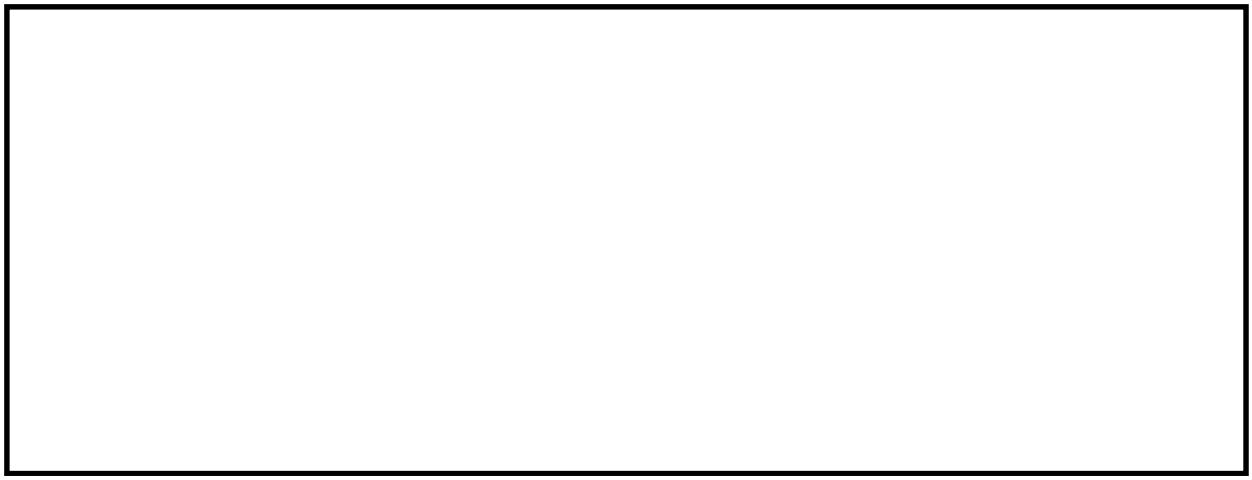

図 5.1-15（15）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ＋〕，検討ケース④：敷地に存在しない豊浦標準砂の
液状化強度特性により地盤を強制的に液状化させることを仮定した解析ケース）

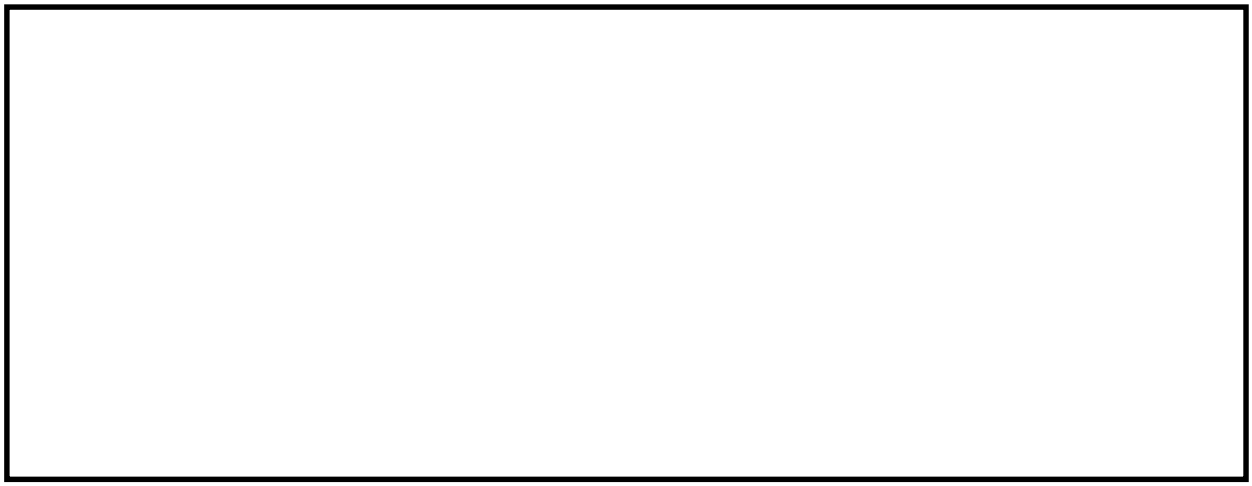

図 5.1-15（16）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（防潮壁部））
（地震波：Ｓｓ－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，検討ケース④：敷地に存在しない豊浦標準砂の
液状化強度特性により地盤を強制的に液状化させることを仮定した解析ケース）

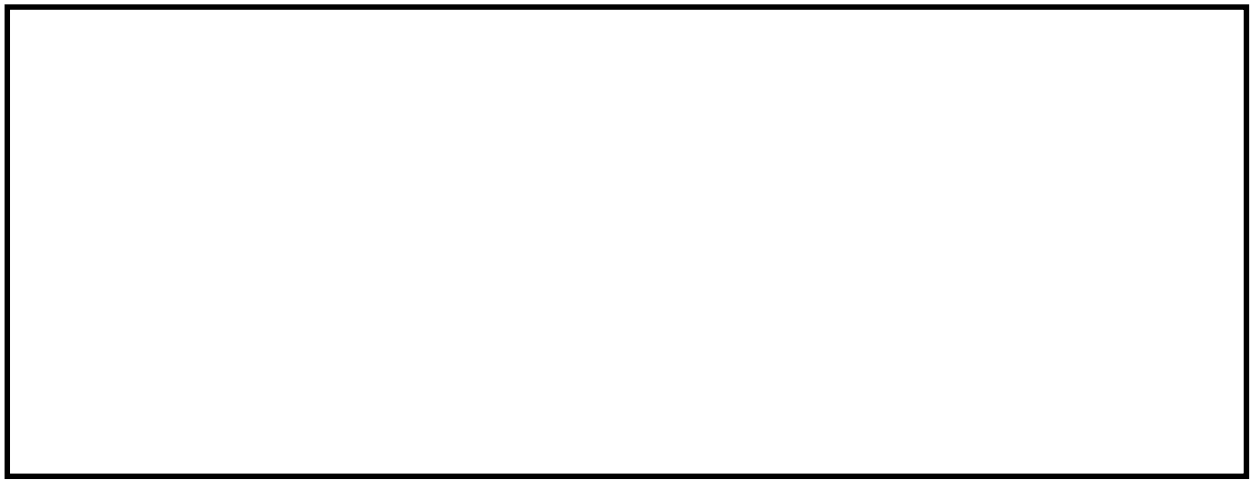

図 5.1-16（1）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

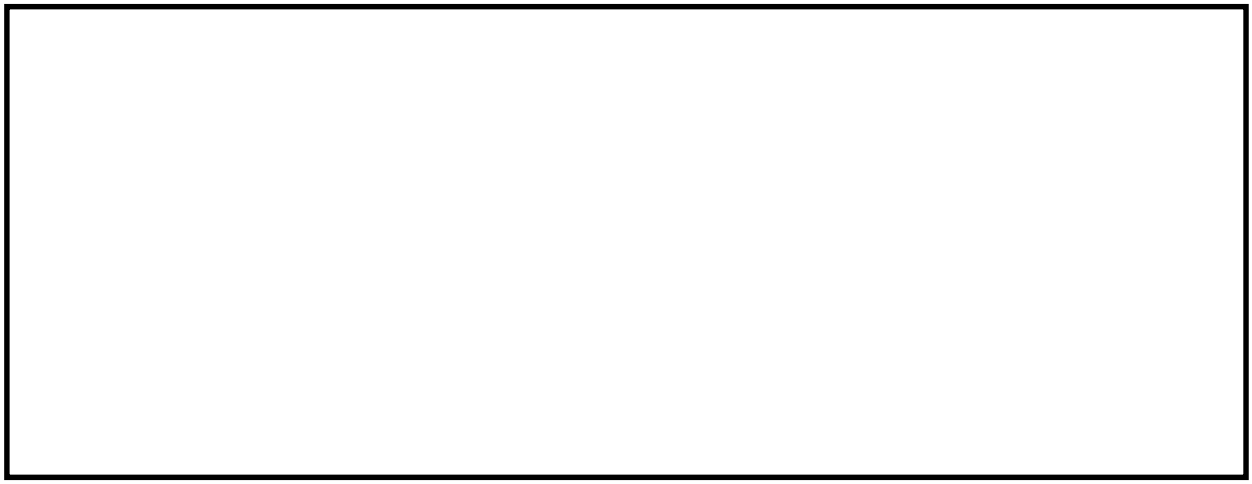

図 5.1-16（2）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

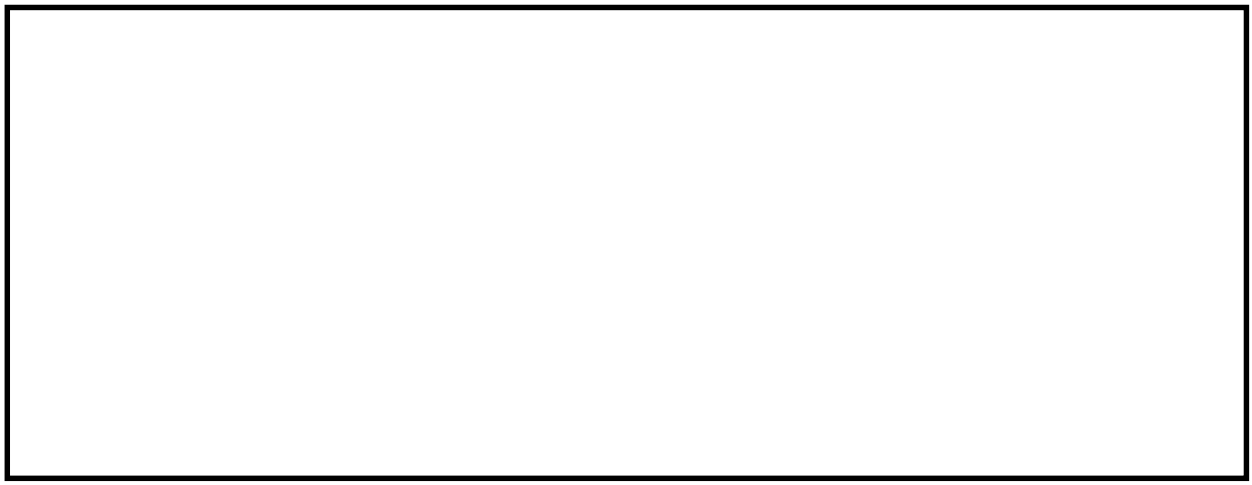

図 5.1-16（3）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ－，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

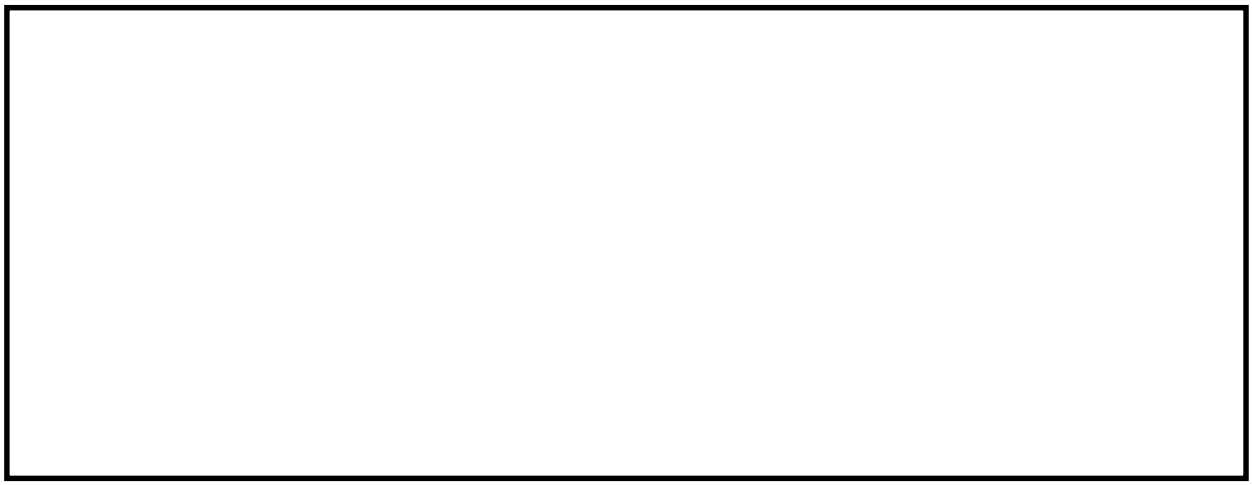

図 5.1-16（4）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ－，Ｖ－〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

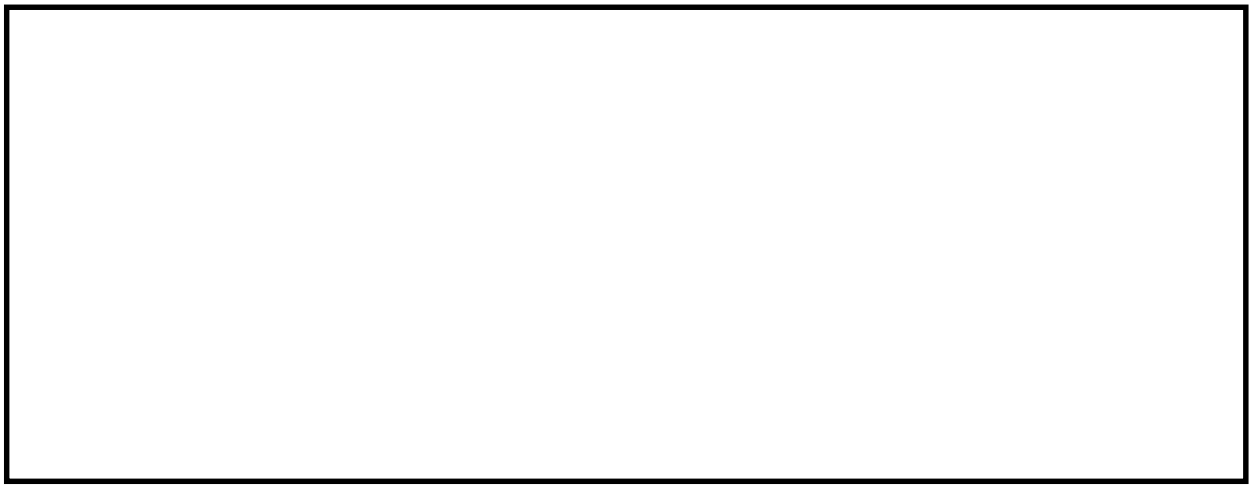

図 5.1-16（5）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓｓ－１１，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

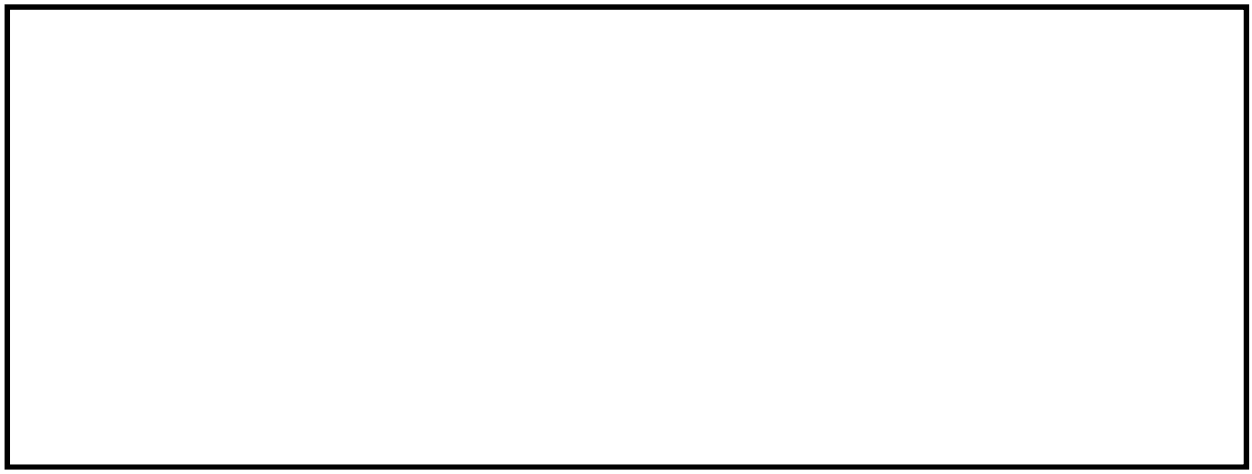

図 5.1-16（6）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓｓ－１２，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

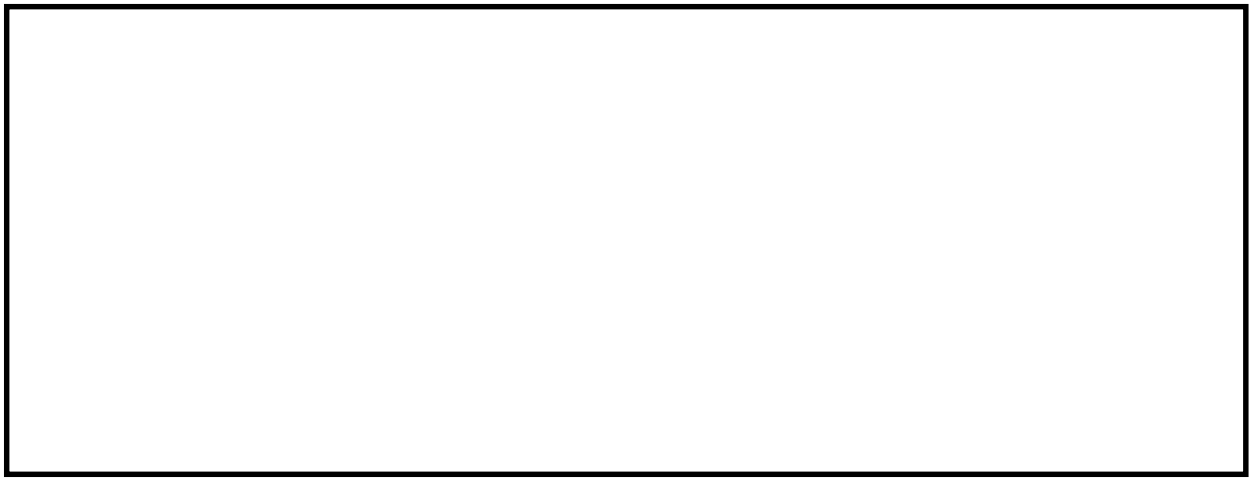

図 5.1-16（7）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓｓ－１３，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

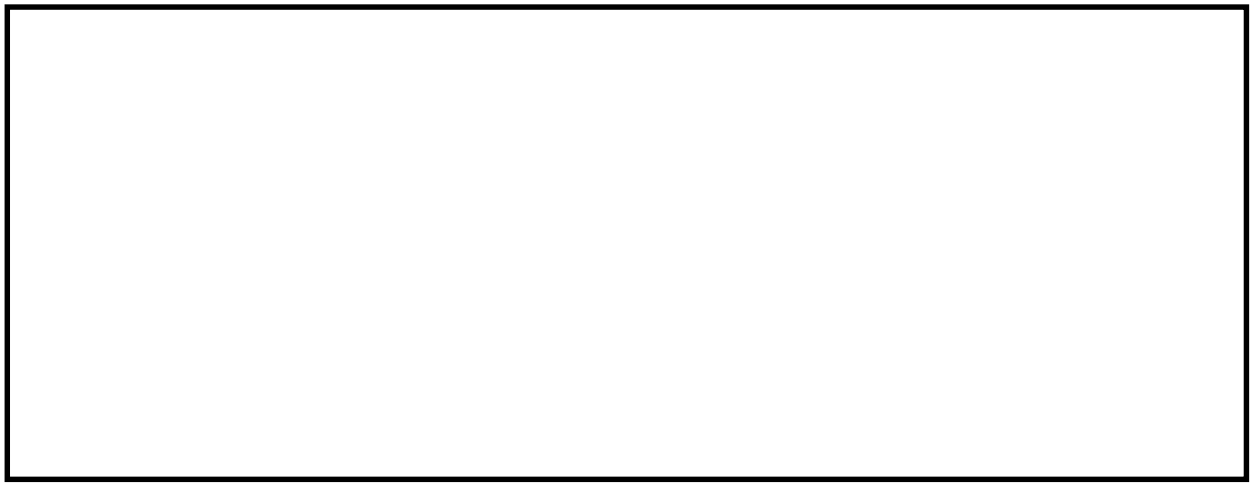

図 5.1-16（8）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓｓ－１４，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

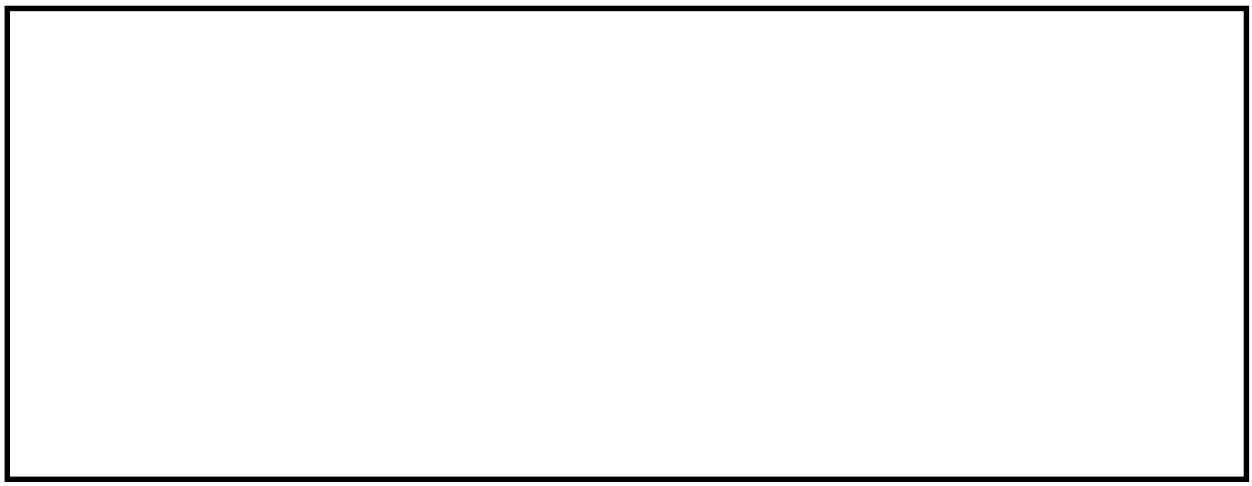

図 5.1-16（9）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓｓ－２１，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

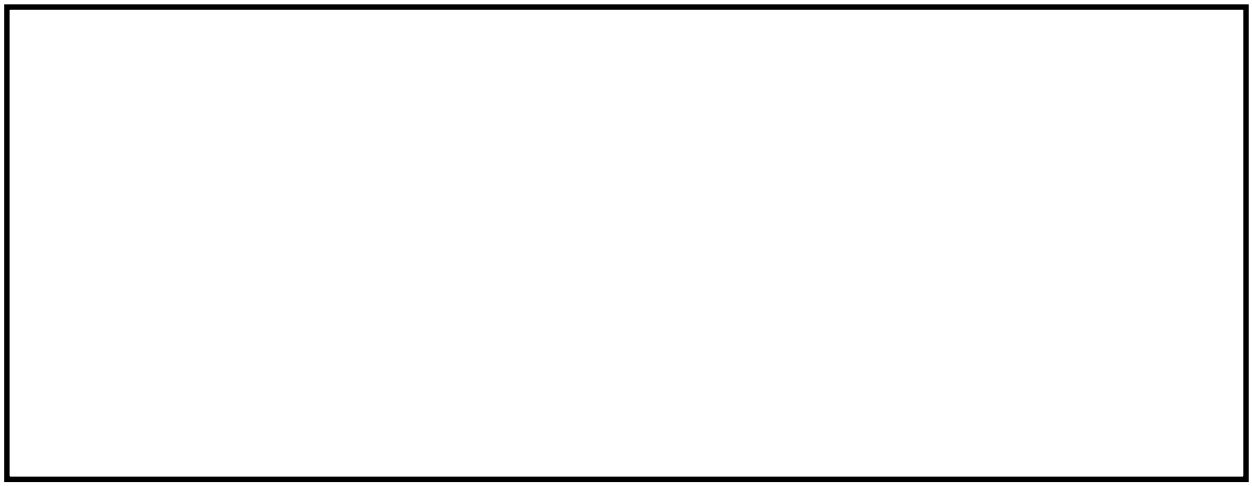

図 5.1-16（10）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓｓ－２２，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

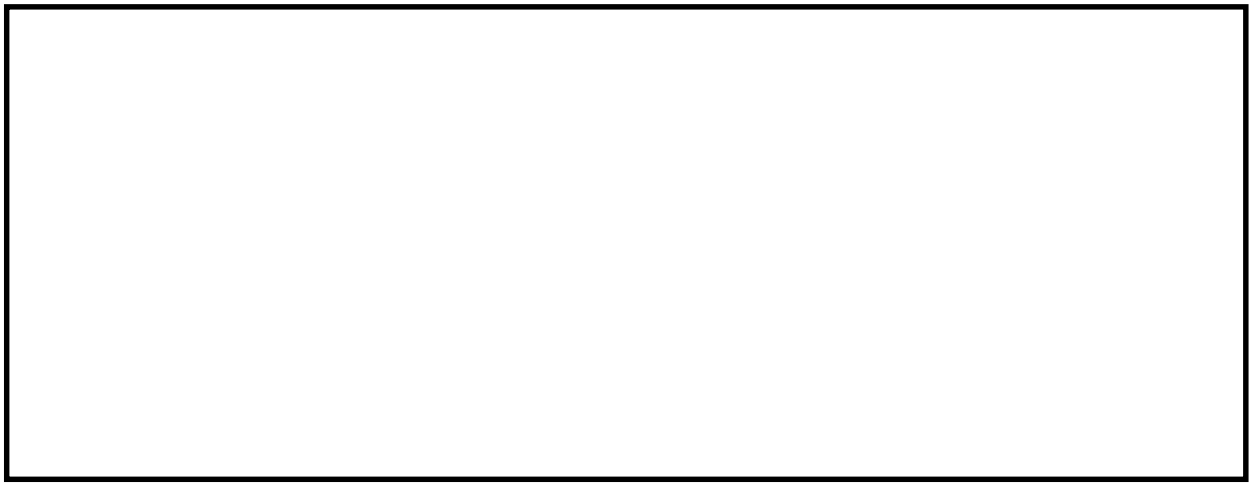

図 5.1-16（11）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓｓ－３１〔Ｈ＋，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

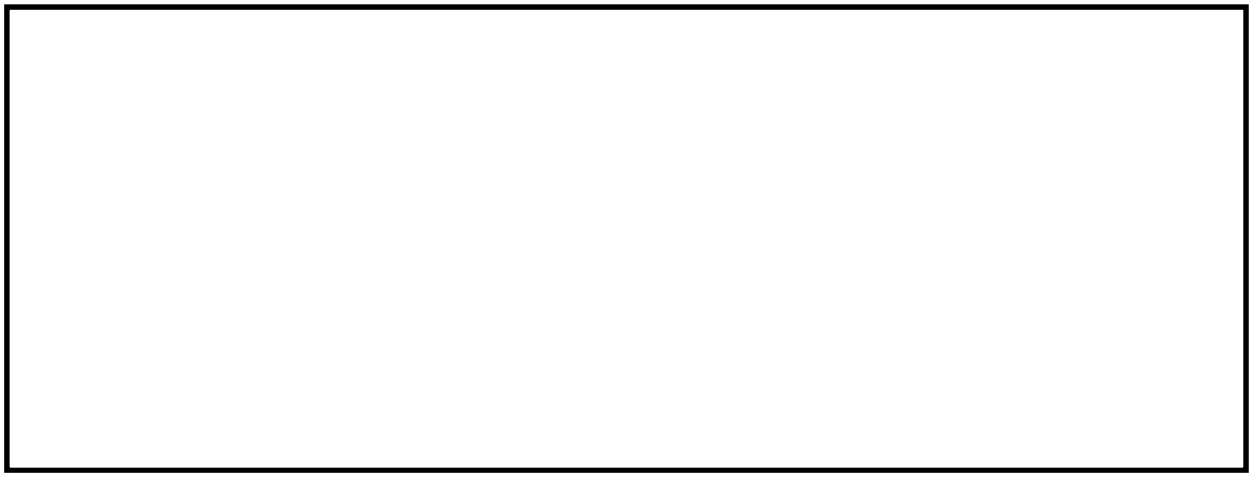

図 5.1-16（12）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓｓ－３１〔Ｈ－，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

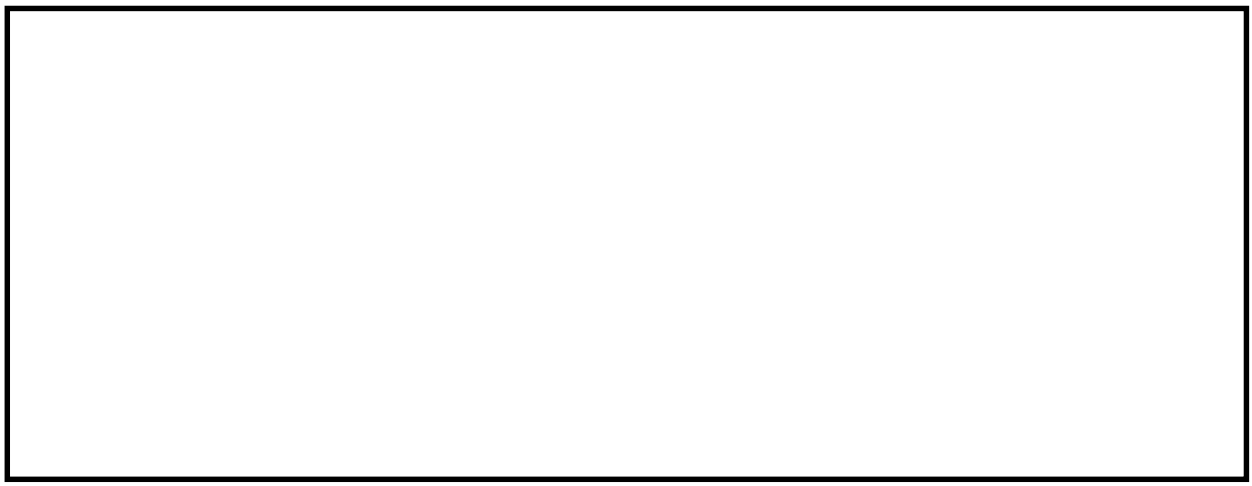

図 5.1-16（13）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース②：地盤物性のばらつきを考慮（＋1σ）した解析ケース）

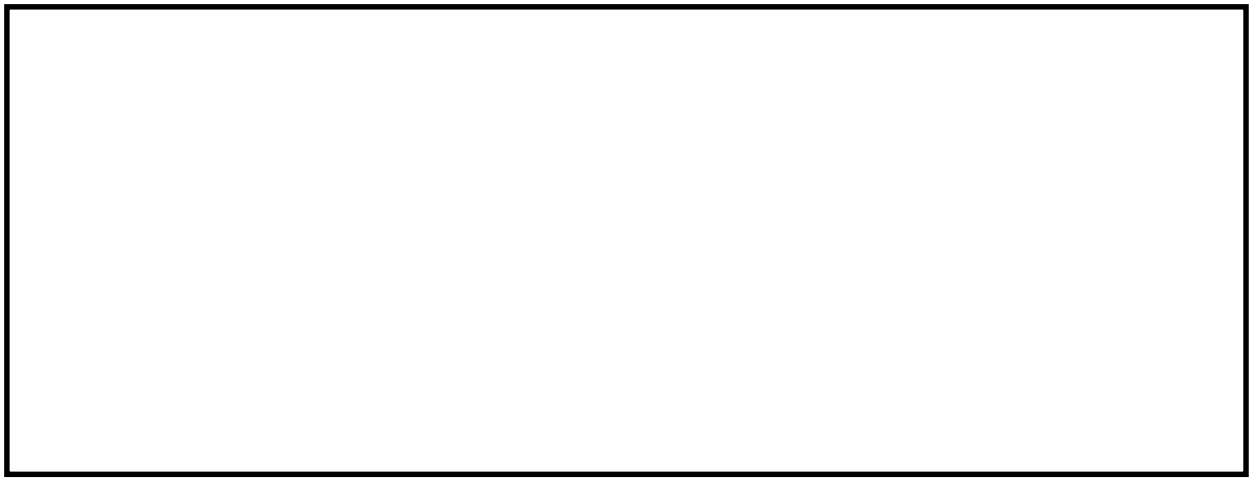

図 5.1-16（14）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース③：地盤物性のばらつきを考慮（－1σ）した解析ケース）

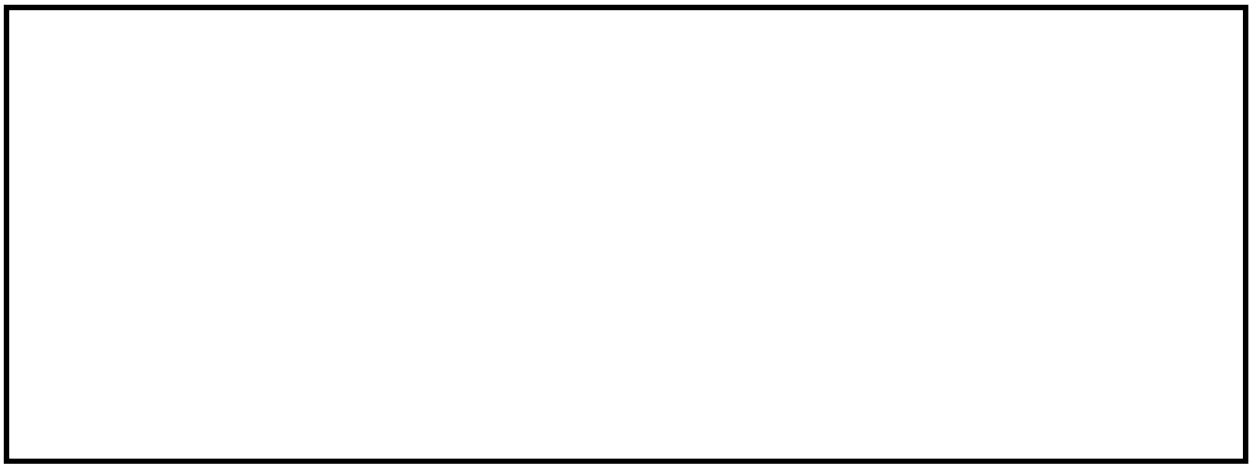

図 5.1-16（15）　過剰間隙水圧比（防潮壁縦断方向（放水路ゲート部））
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，検討ケース④：敷地に存在しない豊浦標準砂の
液状化強度特性により地盤を強制的に液状化させることを仮定した解析ケース）

5.1.5　最大加速度分布

各要素に発生している水平方向の加速度応答分布を確認するため，各基準地震動における最大加速度分布を図 5.1－17～図 5.1－19 に示す。

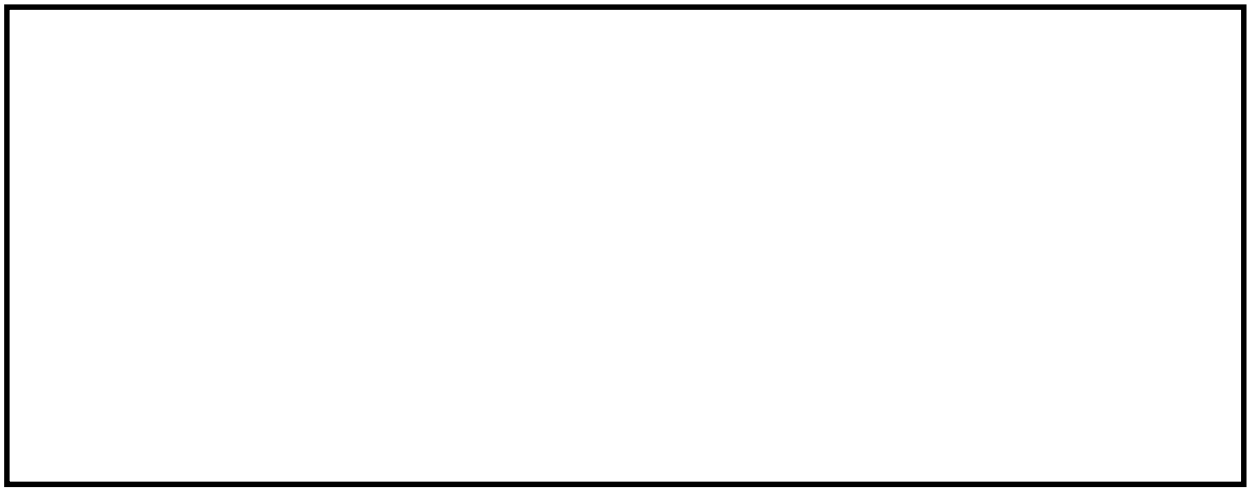

図 5.1-17（1）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

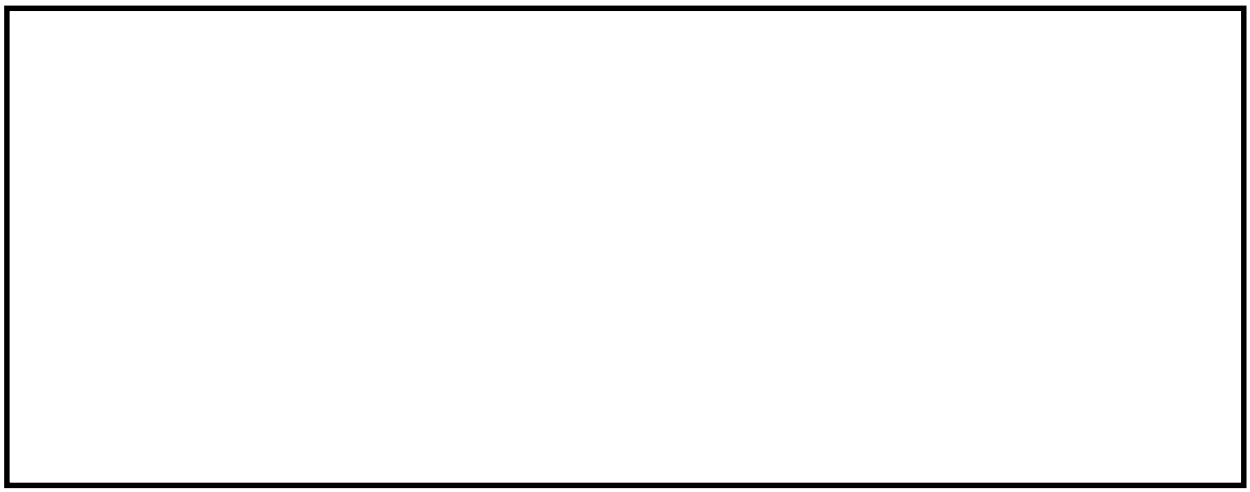

図 5.1-17（2）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

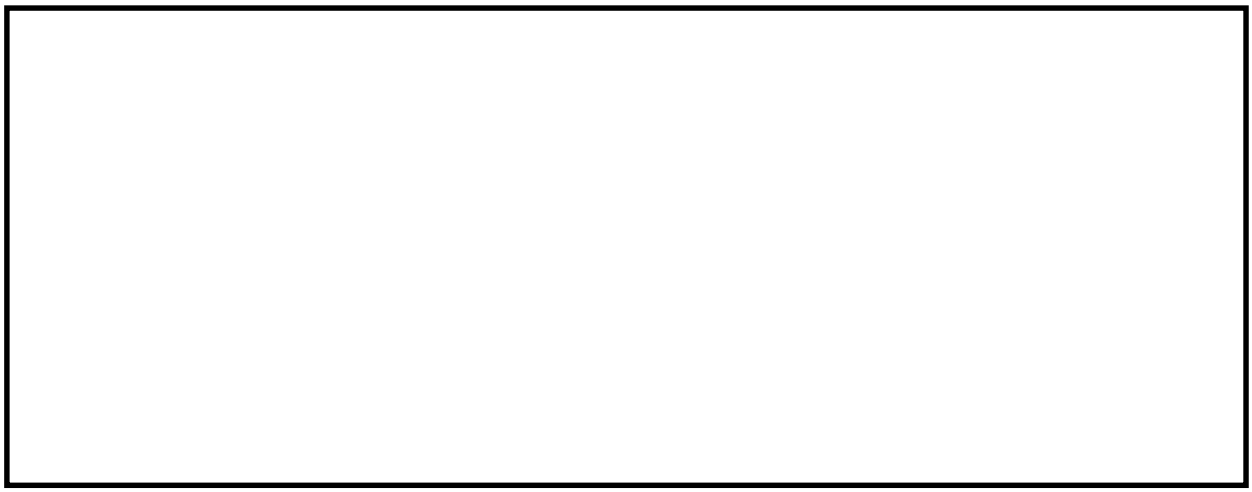

図 5.1-17（3）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ－，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

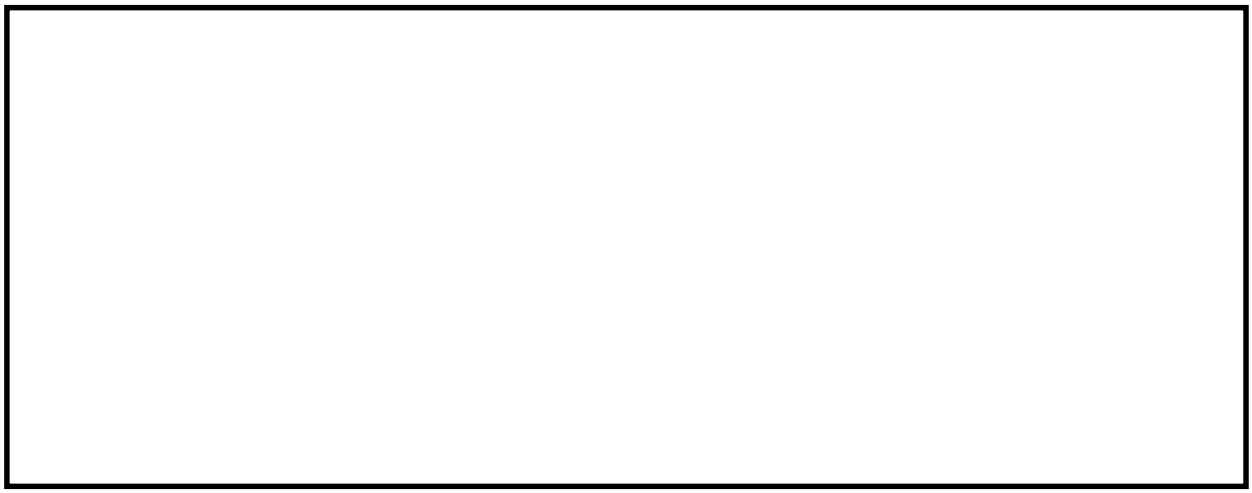

図 5.1-17（4）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ－，Ｖ－〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

図 5.1-17（5）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－１１，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

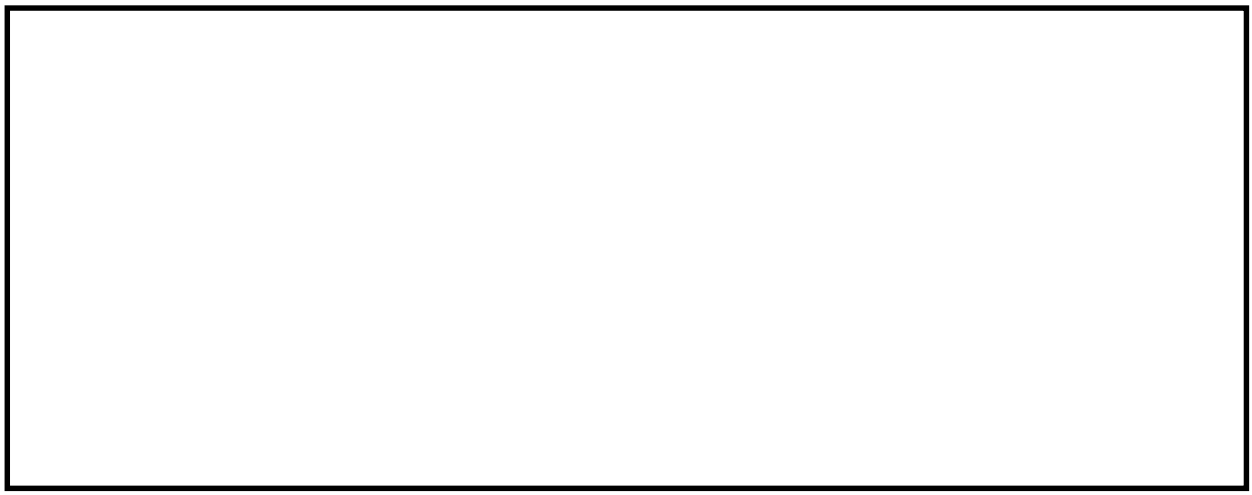

図 5.1-17（6）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－１２，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

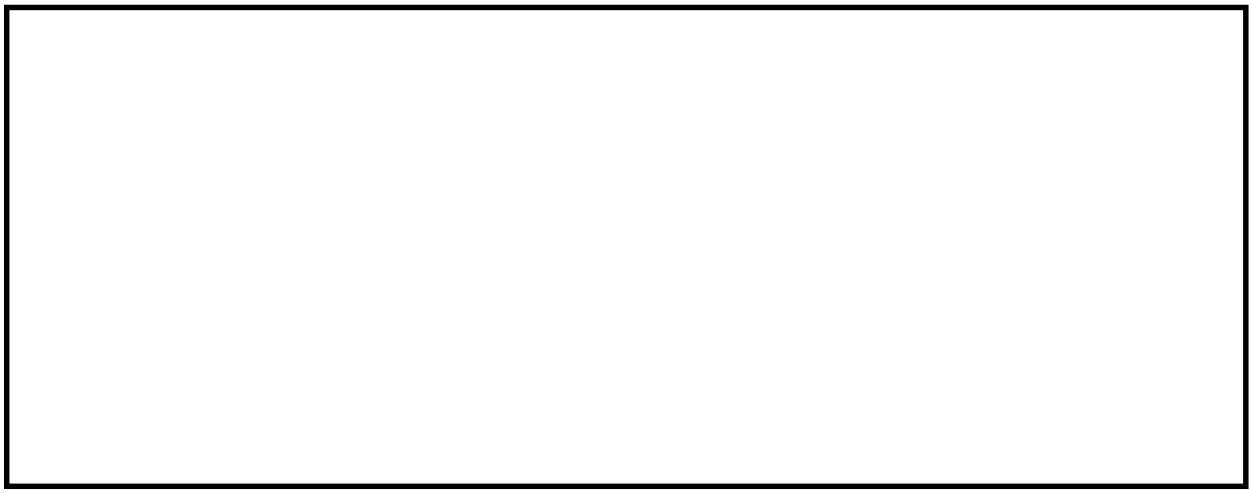

図 5.1-17（7）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－１３，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

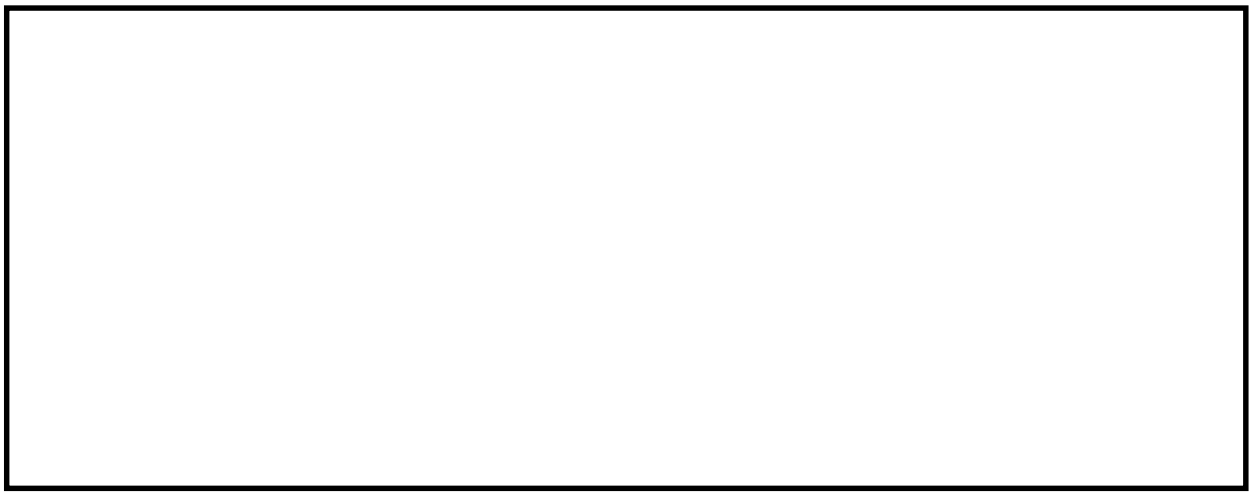

図 5.1-17（8）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－１４，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

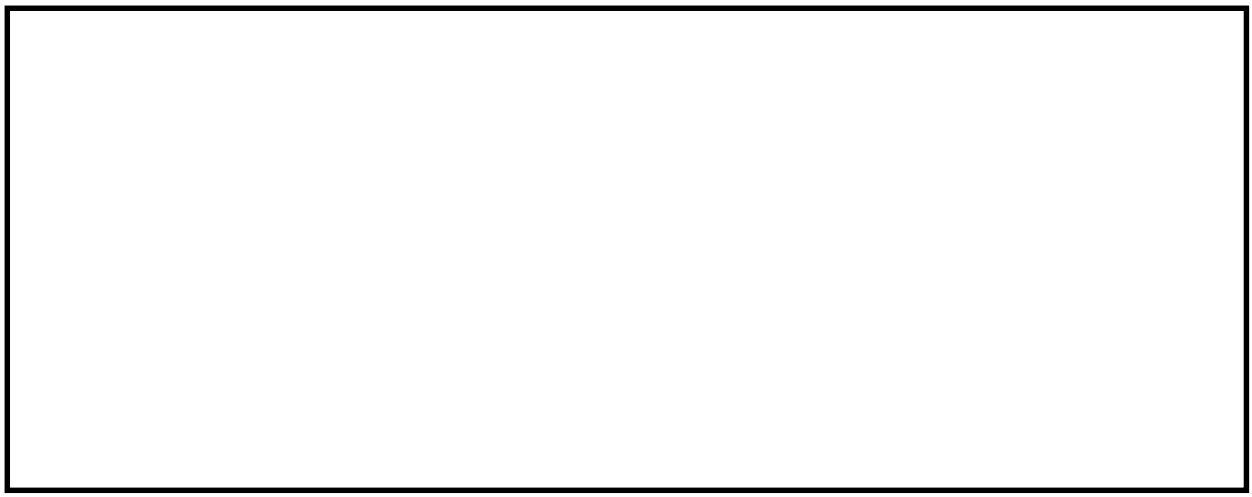

図 5.1-17（9）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓｓ－２１，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

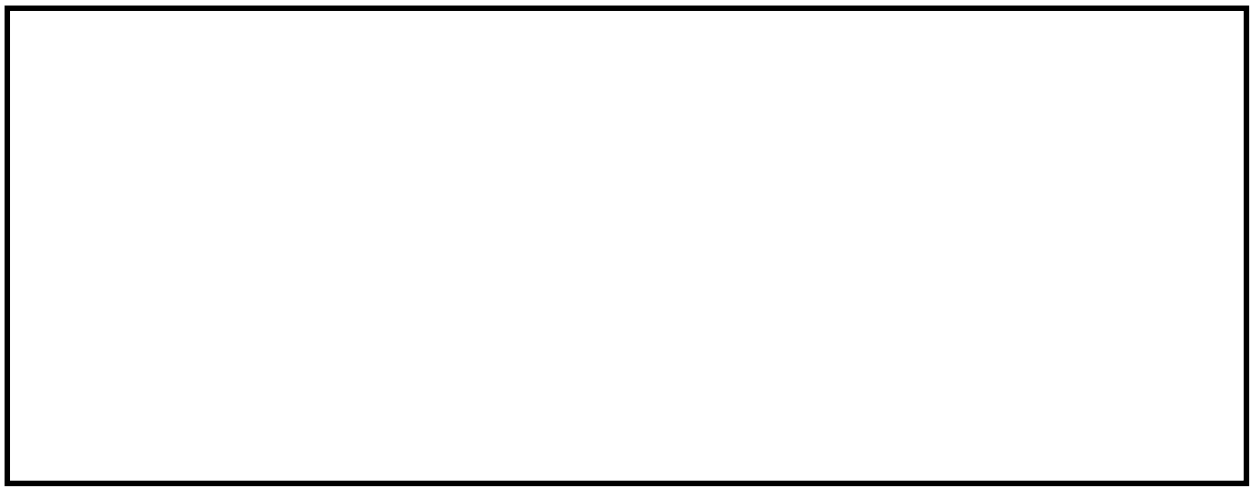

図 5.1-17（10）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓｓ－２２，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

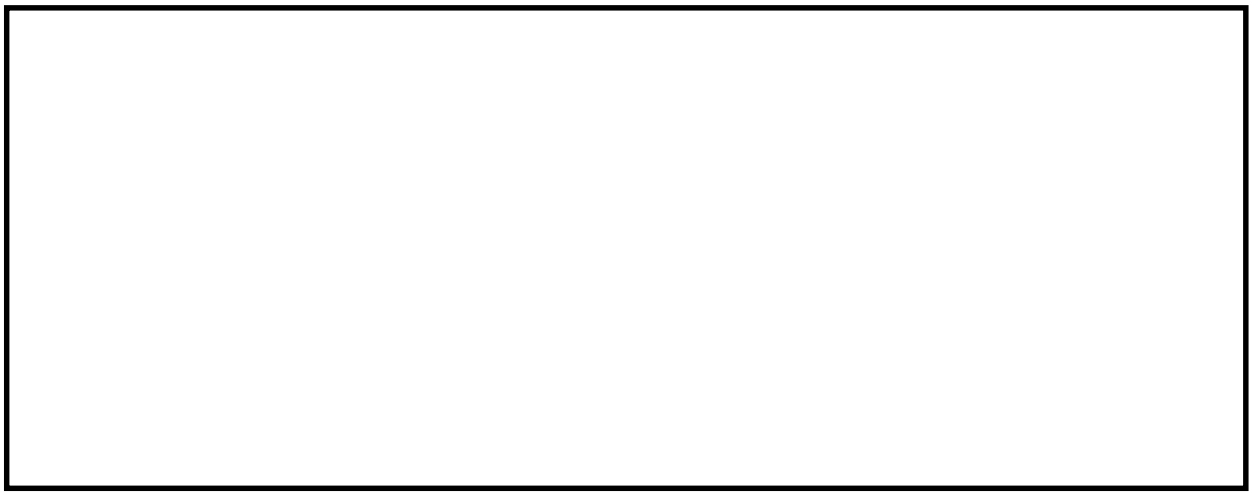

図 5.1-17（11）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－３１〔Ｈ＋，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

図 5.1-17（12）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－３１〔Ｈ－，Ｖ＋〕，
検討ケース①：原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース（基本ケース））

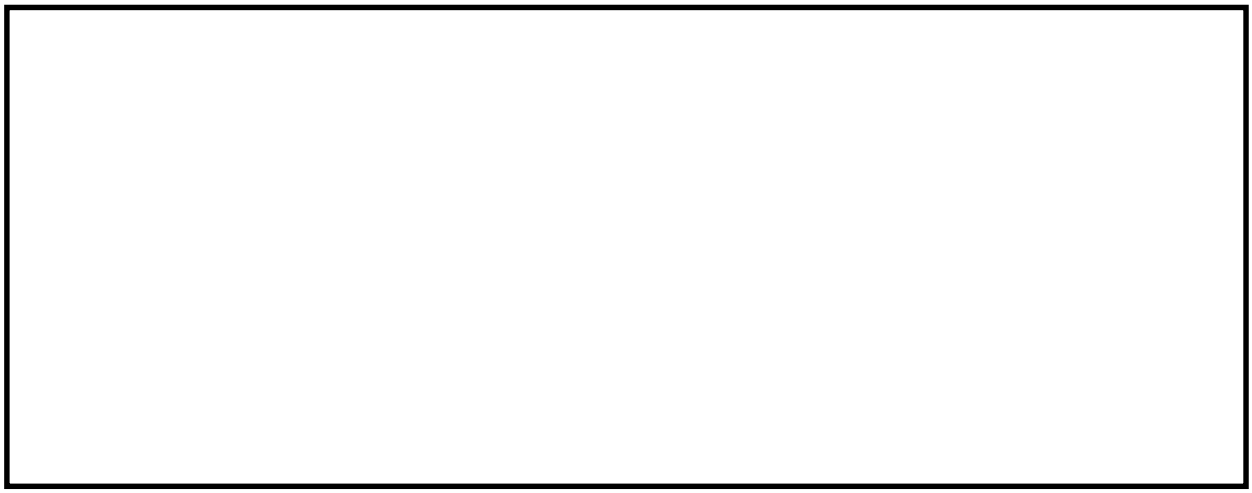

図 5.1-17（13）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース②：地盤物性のばらつきを考慮（＋1σ）した解析ケース）

図 5.1-17（14）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，
検討ケース③：地盤物性のばらつきを考慮（－1σ）した解析ケース）

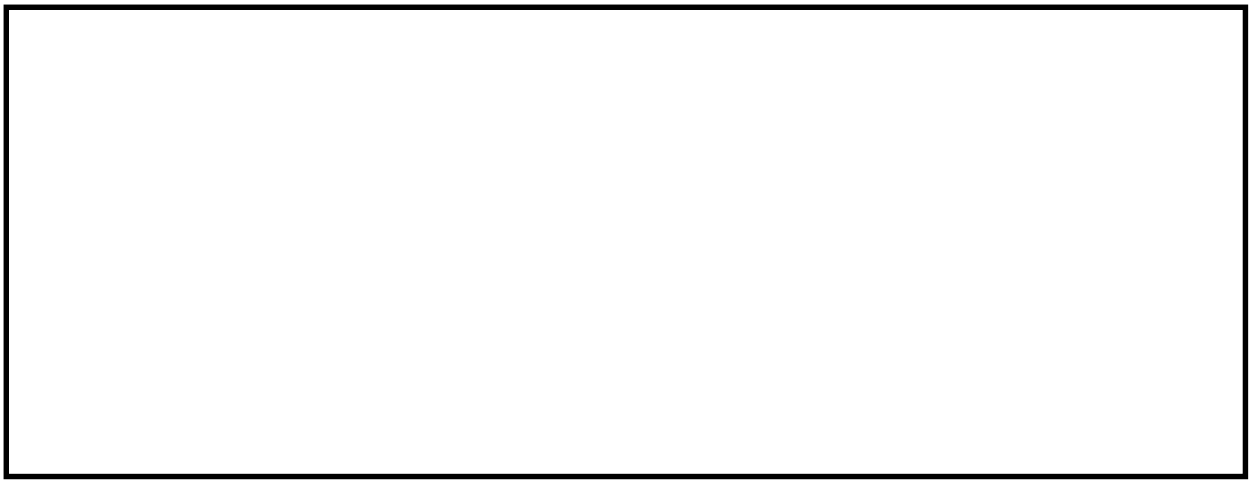

図 5.1-17（15）　最大水平加速度分布（防潮壁横断方向）
（地震波：Ｓ$_s$－Ｄ１〔Ｈ＋，Ｖ－〕，検討ケース④：敷地に存在しない豊浦標準砂の
液状化強度特性により地盤を強制的に液状化させることを仮定した解析ケース）